

おこっぺ



町の花ハマナス



町の木ナナカマド

# 議会だより

第149号

平成29年8月14日

発行／☎098-1692 紋別郡興部町旭町 興部町議会

TEL (0158) 82-2135  
FAX (0158) 82-2990

編集／議会広報特別委員会

## 第64回 興部町総合文化祭芸能発表会



興部三弦愛好会

第2回町議会定例会 …… P2～5

総務社会常任委員会所管事務調査報告 … P5

町政ここが聞きたい!! …… P6

産業建設常任委員会所管事務調査報告・北海道町村議会議員研修会報告 … P7

議員活動報告・編集後記 …… P8

# 平成29年 第2回 町議会定例会のあらまし

平成29年第2回定例会は、6月20日(火)開会され、町長の行政報告、選挙1件、承認1件、報告2件、議案9件、同意10件、発議3件、計26案件が審議されました。

## 町長行政報告

### 臨時福祉給付金 (経済対策分)

国の施策として、消費税の引き上げによる影響を緩和するため、平成29年4月消費税が引き上げられる平成31年10月までの2年半分を一括して支給する臨時福祉給付金(経済対策分)(対象者一人につき1万5千円)については、本年2月20日から5月31日までの間で申請受付を行い、6月下旬の振込みによる給付をもって事業を終了します。最終の申請者数は、638人で申請率89・7%となっています。

### 汚水処理施設共同整備事業(MICS事業)

西紋地区環境衛生施設組合のし尿処理施設は、昭和51年建設から41年を経過し、建物、処理機械等が著しく老朽化し、修繕等の経費が今後増えていくこと

や、下水道の普及により各市町村とも汲み取り量は減っているものの、浄化槽整備の増加に伴い浄化槽汚泥の処理も必要なことから、新たな施設整備の検討を進めてきました。これまで、組合における構成市町村長会議及び事務担当者会議を開催し、紋別市と滝上町については「紋別アクアセンター」で受入れ、雄武町・興部町・西興部村については、雄武浄化センター敷地内に新たな施設を建設することで合意を得たところです。施設整備については、国の補助事業「汚水処理施設共同整備事業」を活用し、総事業費9億円を見込み、総工費8億7千500万円のうち約半分を国の交付金でまかない、残りの費用負担については各町村の投入量割などに応じて按分し、本年度から事業に着手し、平成33年4月の供用開始を目指し、事業を進めていきます。



西紋地区環境衛生センター

### バイオガスプラント 運転状況

昨年10月末の完成引渡しから、7ヶ月を経過した興部北興バイオガスプラントの稼動状況ですが、原料の搬入から消化液の搬出までの一連の施設運転は順調に進められており、バイオガスの発生量及びオコッペ・バイオエナジー社による発電量については、1月・2月の厳寒期に原料及び発酵温度の低下などにより予定していた平均量をやや下回る数値で推移したものの、気温が上昇した3月以降については、計画値を上回っており、年間を通じて当初計画以上の実績を期待します。

## 議会の動き

平成29年5月16日以降	5月16日	オホーツク町村議会議長会定期総会
19日	興部町商工会通常総会	
22日	西紋別地区総合開発期成会要望活動	
23日	総務社会常任委員会所管事務調査	
28日	興部消防団連合会	
29日	オホーツク圏活性化期成会定期総会	
30日	遠紋地区市町村議会議長会総会	
31日	興部中学校運動会	
6月5日	沙留中学校運動会	
6日	ふれあいサロン「ほっと」開所式	
11日	議会全員協議会 沙留小学校運動会	

### 教育関係の状況

今年4月の興部高等学校

への新入学生徒については、入学出願者41名で定員の40名が合格し、入学者も40名となり、昭和63年以来となる定員を満たしたところです。このことは、興部高等学校をはじめ関係各位のご努力と支援策の成果であり、今後も間口確保対策協議会・西紋地区教育文化振興会が中心となり継続した支援を行っていきます。

次に、新中学校校舎の建設については、2月末より本格的に基礎工事が進められ、4月26日に1階基礎部分のコンクリート打設がされ、1階の床まで出来上がったところ。工事は1階部分の躯体工事に入り、今後2階部分の躯体工事及び電気・機械設備工事が進む予定です。また、校舎の外構設計業務を4月17日に発注し、工期は11月30日までです。7月以降には、学

校用器具備品のほか管理用備品、機械器具についても順次発注していく予定です。



新興部中学校建設工事

次に、北海道教育委員会からの派遣社会教育主事については、昨年より専任の社会教育主事の派遣を要請していましたが、4月1日付けで、北見市立東相内中学校で教諭として勤務されていきました遠藤泰代さんが着任しました。派遣期間

は、平成29年度から平成31年度までの3年間です。次に、沙留地区における放課後子ども教室については、4月に入り受入れ準備作業を進めており、体制が整ったことから4月25日に開設しました。当初の登録者数は18人でし

たが、5月末での登録者数は37人、5月の1日平均利用者は15・8人であり、宿題に取り組んだり、屋内外で運動遊びや芋を植える体験をしたりと、子ども達は元気に楽しく活動しています。

### 農作物の作況

本年の牧草は、春先からの干ばつの影響から成熟が早まり、草丈が伸びないまま出穂しており、既に刈取り時期を過ぎてからの収穫となっており、収量と収穫量及び栄養価の低下が懸念されています。

また、飼料用トウモロコシは、播種開始、終了とも



牧草収穫作業

されま

### 生乳生産の状況

今年度の計画乳量は4万9千643tで、5月末現在の生産乳量は、昨年同

### 漁業生産の状況

本年度の水揚げ計画数量は、前年計画とほぼ同様の1万1千879tで、毛ガニ

は、前年計画とほぼ同様の1万1千879tで、毛ガニ漁は昨年対比8%減の102t、さけ定置網漁は24%減の1千900tです。ホタテ漁は前年計画に対して14%増の8千tの計画ですが、以前として時化による漁場被害の影響による漁獲量の減少が見込まれるなか、沙留漁業協同組合・

12日	13日	14日	15日	20日	29日	30日	7月4日	5日	7日	9日	12日	
興部小学校運動会	北海道町村議会	北海道町村議会	議長会定期総会	議会運営委員会	議会広報特別委員会	議会全員協議会	西紋別地区総会	西紋別地区総会	西紋別地区総会	西紋別地区総会	西紋別地区総会	西紋別地区総会

比27%減の670t、毛ガニ漁では15%増の67tです。ホタテの稚貝放流は、4月22日からB海区に2億1千450万粒の放流計画で、地方産については、5月31日に放流を終え、地元沙留産については、5月9日から操業し、6月15日に終了しています。

また、6月13日よりホタテ漁の本操業が開始されました。



ホタテ水揚げ作業

### 建設工事の発注状況

6月1日現在、土木・水道工事で47%、建築工事44%となっており、残余の工事についても準備が整い次第随時発注を予定しています。

### 紋別地区消防組合 議会議員選挙

興部町議会選出議員1名欠員のため、紋別地区消防組合規約第6条第3項の規定により選挙を行い、藤渡昭博議員が当選した。

### 一般会計補正予算 (第1号)

補正額は2千69万1千円を追加し、総額50億9千19万1千円とし、原案どおり可決した。

### 歳出の主なもの

- 西紋別地区地域連携推進負担金 500万円増
- 汚水処理施設共同整備事業 (MICS事業) 157万2千円増
- 興部町観光協会補助金 365万円増

### 承認した人事案件

○興部町固定資産評価審査委員会委員の選任  
森田泰徳氏の選任を承認した。

### 報告された案件

- 平成28年度興部町一般会計予算継続費繰越計算書の報告
- 平成28年度興部町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

### 改正された条例

- 町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 興部町税条例等の一部を改正する条例
- 興部町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 興部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

### その他議決された案件

- 朝日橋外修繕工事 契約金額 4千978万8千円
- 新島工業株式会社 契約の相手方

- 興部下水終末処理場電気設備更新工事 契約金額 6千156万円
- 契約の相手方 北海道三菱電機販売株式会社

- 財産の取得
- ①コンピュータ断層撮影装置 取得価格 2千597万4千円
- 契約の相手方 株式会社常光北見営業所

- ②スクールバス (29人乗マイクロバス) 契約金額 706万3千200円
- 契約の相手方 旭川トヨタ自動車株式会社紋別店

### 興部町農業委員会 委員の任命について

任期満了に伴い、10名の任命に同意した。

- ・松村和一氏 ・角谷泰史氏
- ・三宅雅弘氏 ・長谷川典章氏
- ・永田 貢氏 ・十河信幸氏
- ・菅井裕昭氏 ・小浜勝廣氏
- ・河原光義氏 ・山本敏幸氏

15日	北海道消防操法訓練大会報告会	沙留保育所運動会	遠軽駐屯地創立66周年記念式典	総務社会常任委員会所管事務調査	産業建設常任委員会所管事務調査	紋別地区消防組合議会臨時会	紋別地区消防組合議会広報特別委員会	オホーツク町村議会事務局長研修会	オホーツク圏活性化期成会夏季要望活動	遠紋地区市町村議会議員研修会	北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会定期総会	網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会定期総会
16日												
17日												
21日												
24日												
26日												
27日												
29日												
31日												
8月2日												
8日												

## 意見書の採択

①「新たな高校教育に関する指針」の見直しに関する意見書

提出者 小泉 優子議員  
賛成者 佐藤 吉春議員  
賛成者 矢野 幸三議員  
賛成者 前田 義雄議員

賛成者 佐々木忠行議員  
道・道教委は、地域の願いや実態に応じ、子どもの学ぶ権利や教育の機会均等を保障する立場から「新たな高校教育に関する指針」を検討・見直すことを求める意見書。

②特別支援学校の設置基準の策定、及び、特別支援学級の学級編制基準の改善を求める意見書  
提出者 佐藤 吉春議員  
賛成者 小泉 優子議員  
賛成者 矢野 幸三議員  
賛成者 前田 義雄議員  
賛成者 佐々木忠行議員

特別支援学校の設置基準を策定すること及び特別支援学級の学級編制基準を改善し、1学級6名とすることを求める意見書  
③林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書  
提出者 前田 義雄議員

賛成者 阿部 昭一議員  
賛成者 藤渡 昭博議員  
賛成者 竹内 清議員  
・森林整備・治山事業の財源確保及び森林整備から木材の加工・流通、利用までの取り組みに対する支援措置を充実・強化することを求める意見書。

# 所管事務調査報告 総務社会常任委員会

総務社会常任委員会は、5月23日幼保一体化に向けた幼稚園の今後の対応について、はまなす学園芦沢理事長、はまなす幼稚園小園長、福祉保健課より説明を受けました。

興部町は認定子ども園設置にむけ、幼保一体化を進めている。幼児教育の必要性は以前より言われていることであり、小学校へ入学したときには同じ学習を受けるわけで幼児期に教育を受けた子、受けていない子

がいたことは公平とはいえない事であり、興部町は今年から、はまなす学園より興部保育所へ保育士2人の派遣を受けることになり、平成31年4月より保育所運営を、はまなす学園へ移管する計画となっている。認定子ども園（幼保連携施設）の予定はまだできていない。

幼保連携型認定子ども園は同一敷地又は隣接敷地内に建設されなければ認定子ども園とならず、現保育所

隣接地に建設予定です。施設建設終了時点で幼保連携型認定子ども園の認可を受ける予定。当面は幼稚園、保育所それぞれの機能を踏襲するが平成31年4月までに町民の理解を求めつつ内容検討する。

現在は両施設が離れた位置にあり双方の内容を理解するには少し時間がかかる。離れた施設間で互いの考えや保育理念を共有することが大事であり、双方の保護者のニーズが違い、役

割分担、共有等について検討が必要である。幼稚園、保育所お互いを学ぶ研修時間の確保も必要。子どもを健全に育てるには、親の教育力を育てること、地域の教育力を育てることが大切である。子どもの健全な成長のため行政からの財政支援がもつとも必要である。

幼稚園としては、子育てサポート機能の充実、学童保育、一時あずかり、相談の継続、心を育てる教育環境、0歳〜1歳までの育児サポート、障害児ケアサポート、異年齢、高齢者等との交流機能を持つ施設ができれば理想である。



興部町にとって幼児教育、保育の施設となるため課題は山積しているが、より良い施設建設へ向け、そして充実した内容を持った認定子ども園となるよう切に願うところです。

(記)総務社会常任委員会  
委員長 小泉 優子

# 町政ここが聞きたい!!

## 問

自治会活動等の「担い手」は!!  
今後町づくり政策の中で併せて考える  
前田義雄議員  
一寿町長



前田議員

執行方針で「自治会加入世帯は1千661世帯」と述べているが、広報では約1千820世帯だ。世帯数と自治会加入数に160位の差があるが、その理由は。

一寿町長

中国研修生71世帯、住基台帳上2世帯だが、自治会として1世帯としてある等々による、未加入世帯は15世帯である。

前田議員

「地域コミュニティ」の中核は「自治会」であり行政全般に渡り住民の協力なしでは進められない。

一寿町長

い。人口の減少、特に若い世代の減少と社会習慣、生活様式の変化の中で「地域社会の結びつき」の弱まりは、行政にとって重大な危機と思うが、どう考えるか。

前田議員

自治会活動は住民自治、町づくりとしても重要だ。自治会連合会は自主的な運営をしながら、町と住民の橋渡し、災害時の連絡等「公助」の部分を持つてくれる重要な組織である。今後研修生の方にも積極的に親しんでいただく政策も必要と考えている。

前田議員

最近の報道では、民生委員の「なり手」がない等々、町や国の様々な組織で「なり手」がない事が問題視されている。地域社会のあり方が変化してきているのではないかと。住民参加、協力という観点で「消防団」を例に伺いたい。

一寿町長

を利用し、市職員16名を団員扱いとしている。先々検討される考えは。

一寿町長

略農家や各事業所のご理解を得て現在の団員充足率は96%、101名だ。過去のように自営業者中心ではなく被用者（雇われている方）が多いことで仕事の関係等で出勤率が増減があることは事実である。職員という事だが、災害等の際は、職員としての立場で対応しなければならぬこともあり、考えていない。

前田議員

教育長に何うが、札幌札幌小学校で「PTA加入は、義務ではない」という入退会自由宣言をしたと聞く。学校を取り巻く環境や社会構造が様変わりし、共稼ぎ世代等が増え、役員割当て、各種イベント・研修会等、保護者の負担になつていく状況にあるのではないかと。教育長は盛んに地域住民や保護者の参画、協力をいうが、協力する方も大変だと思うが。

一寿町長

加入の問題や役員選出の苦勞は聞くが、各学校共PTAの目的や趣旨を理解、賛同してもらっている。児童、生徒の減少で以前と同じ活動は出来ないうが、学校と父母が連携し、子ども達の健全育成に努力されている。PTA活動は、今後とも重要と認識している。



産業建設常任委員会は、5月23日新中学校校舎整備事業における建築等の工事進捗状況について調査しました。

建築概要は、

- ・鉄筋コンクリート2階建
- ・延床面積2千907㎡
- （普通教室3・特別教室2・技術室・音楽室・家庭科室・図書室・情報交流ホール・美術室・視聴覚室・進路指導室・特別活動室兼多目的教室・理科室・生徒会室・多目的

# 所管事務調査報告 産業建設常任委員会

（ホール）

- ・工事発注内訳は、建築主体工事・機械設備工事・電気設備工事。
- ・工期は、平成28年9月16日～平成30年1月30日まで

今後の予定としては、興部中学校・沙留中学校の解体工事、外構工事（グラウンド、駐車場）及び中学校の備品関係の発注です。

工事の進捗状況については、現在基礎工事が完了して21%の出来高であり1階の柱回りを製作中でした。また、外回りの足場・手すりについても安全に十分配慮されています。工事現場はこれから最盛期を迎える作業量が増えることと増えることと思われまます。

今まで以上に安全に配慮

され作業を進めていただき素晴らしい興部中学校の完成を祈ります。

興部中学校の閉校式は  
平成29年11月12日(日)  
沙留中学校の閉校式は  
平成29年9月24日(日)

（記：産業建設常任委員会  
委員長 阿部 昭一）

## 北海道町村議会議員研修会報告

去る、7月4日札幌コンベンションセンターに於いて、北海道町村議会議員研修会が開催されました。「トランプ政権と日本経済、地域経済への影響は？」と題して、慶応義塾大学経済学部教授金子勝氏と、「日本政治の昨日、今日、明日」と題して日本放送協会開設副委員長島田敏男氏のテレビ等でお馴染みのお二人に講演をいただきました。

島田氏は、これからの国政の動き方などについて講演があり、親しい人から、

まず世の中に存在している批判の声、これをいち早く引き出し、それに対する処方箋をじっくり、あらかじめ考えておく、こうゆう事が出来る日本の政治文化であってほしいとのお話を頂きました。金子氏は、有効求人倍率が上昇したのは単に求職者が減っただけで、農業においては、工業製品を輸出するために農業を犠牲にしてきた、気がついてみるとここ十年で担い手は30%減って、担い手の半分以上が65歳以上になつてい

る。少子化問題にしても、子育て教育支援策を変えていかなければならず、この政策でいいのか、効果が上がっているのか政治家として考えなければいけない時期にきている。国が変わらないから変わらないじゃなく、自分達がポジティブに経済を創っていく、未来の可能性を考えて若い人が地元根づき、担い手として地元に住めるよう、そんな未来に対する投資が必要であるとのお話を頂きました。興部町は農業と漁業を基幹産業とする町です。そこに町も積極的に投資を

し、より強固な基盤を創るとともに第一次産業を中心に、新しい展開を生み出しそれが雇用の創出にも繋がっていきます。住民が興部町に根づくための環境づくりをすることが、これからの町の大きな役割です。

（記：広報特別委員会  
委員長 藤波 昭博）



# 議員活動報告

## 議会全員協議会

議長 山川 孝義

5月23日、6月6、20日協議会を開催し理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行った。

5月23日

○平成29年度議会報告会（意見交換会）の結果について

6月6日

- 汚水処理施設共同整備事業について
- 興部町民間賃貸住宅建設支援事業補助金交付申請に係る経過報告について
- 地方創生交付金事業について
- 地域連携事業について
- 西紋地区市町村地域連携モデル事業について

・オホーツク統一イメージ形成・発信プロジェクトについて

○平成29年度議会報告会（意見交換会）の結果について

6月20日

○西紋地区市町村地域連携モデル事業について

## 議会運営委員会

委員長 佐藤 吉春

6月15日委員会を開催し次の事項について審議した。

6月15日

○平成29年第2回議会定例会について

## ●お悔やみ●

去る5月9日、故松川雄一議員が急逝されました。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。



## 編集後記

人と人の繋がりは、お互いに敬い、礼を尽くすところと争いは生じない。「ありがとう」「すみません」「はい」と言う言葉は、素直な気持ちをもって出さずらいものがあります。「ありがとう」は、「有ること難し」の意味があり、今ここに生きていることも容易でない。だから日々生きていくことの意味を厳粛に受け止めようということです。

「すみません」は、老若男女ほぼ全ての人が云うのをためらいます。でもそうではなくて、食事はまだ「済みません」とか書類の決済がまだ「済みません」とでも考えればいい。

もちろん済んでいない食事や未決済の書類もいつかは済ませる時があります。が、恩返しは済まさないかなと思ってもなかなか済ませることができません。「恩返しはまだ済んでいな

い」という敬虔（けいけん）・敬いつつしむ）な気持ちによる「済みません」と云う挨拶なんです。「はい」はめぐり会い、邂逅（かいこう）・思いがけなく出会うこと）です。それも他人とのめぐり会いではなく、自分が自分と出会う大事な意味を持ちます。「はい」と

気持ちよく返事することで真実の自分に出会うので。沢庵和尚は柳生宗矩に諭しています。「人に呼ばれて直ちに『はい』と返事するのはスキのない人間だ。暫くして返事する人はスキだらけの人間だ」

沢庵和尚・江戸初期の臨済宗の僧。3代将軍家光に重用され品川の東海時を開山。

柳生宗矩（むねのり）・江戸初期の剣術家。大和柳生藩主。家康、秀忠、家光の3代に仕え関が原の戦い、大阪夏の陣などで活躍。

（記・広報特別委員会 委員 佐藤 吉春）